

## 漁獲量維持増大を目指し サクラマス幼魚（スマルト）1万尾、稚魚6万尾放流

7月6日（金）、村水産振興推進協議会（越善靖夫会長）主催により、老部川内水面保護水域において、サクラマス幼魚・稚魚放流式が行われ、村内漁業協同組合長、むつ水産事務所、東京・東北電力等関係者約50名の手により、平成22年8月中旬から10月上旬に老部川に遡上した親魚から採卵し、ふ化後約1年8ヶ月間、老部川内水面ふ化場で飼育した、平均尾叉長15.0cm、体重28.0gの幼魚（スマルト）1万尾と、ふ化後約7ヶ月間飼育した平均尾叉長5.2cm、体重2.0gの稚魚6万尾が放流されました。また、稚魚は後日、小老部川と野牛川に各2万尾を放流し、計11万尾を放流しました。

今年で15回目となるこの放流事業は、村と村内各漁協がサクラマスの稚魚を買い上げ、内水面漁業経営の安定とサクラマス漁獲量の維持増大を目的として行っている事業です。

村としてもサクラマスは「つくり育てる漁業」の重要かつ貴重な魚種として大いに期待をしているところであり、この事業を今後も継続していき、さらなる資源倍増を図っていきたいと考えています。



御神酒を川へ注ぐ越善村長



関係者による放流

## 全国大会での活躍を期待！ ～川村茅依さん・柏村健吾くん 全国小学生陸上競技交流大会出場～

去る6月24日（日）、青森県総合運動公園陸上競技場で行われた「日清食品カップ 第28回全国小学生陸上競技交流大会 青森県予選」において、東通小学校6年生 川村茅依さん（小田野沢・むつアスリートクラブ所属）が6年女子100mに出場、また、東通小学校5年生 柏村健吾くん（白糠・東通クラブ所属）が5年男子100mに出場、それぞれ第1位を獲得し全国大会出場権を獲得しました。

川村さん、柏村くんの両選手は7月20日（金）に村役場を訪れ、越善靖夫村長に全国大会出場を報告。出場の報告を受けた越善村長は「暑さに負けないよう、体調に気をつけて頑張ってください。全国大会で活躍してみんなの目標となることを期待します」と激励しました。

川村さんは昨年に続き2大会連続出場、柏村くんは初出場となります。

川村さん、柏村くん、全国大会出場おめでとうございます。両選手の全国大会での活躍を期待します。



全国大会出場となった川村茅依さん（左）と柏村健吾くん（右）